

オオバコ科 シソ科 属

キクモ (菊藻)

Limnophila sessiliflora (Vahl) Blume

自生環境

湿地、水田、池や沼 など

原産地

日本在来

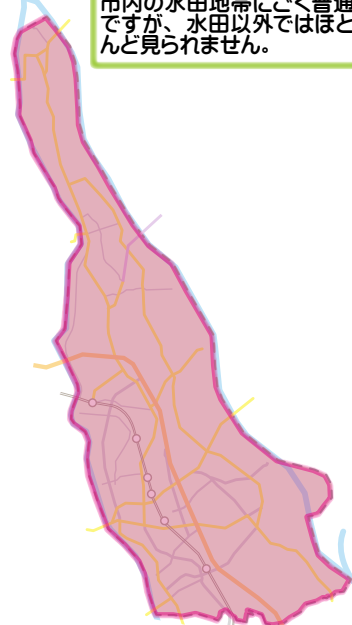
生育を脅かす要因



今のところ市内では水田にごく普通に見られますが、油断は禁物です。一般に、水質の悪化や、農薬使用、冬場の乾田化は、生育を妨げる原因になると言われています。

市内の分布状況

市内の水田地帯にごく普通ですが、水田以外ではほとんど見られません。



特徴

- ☆ 水田及び、その周辺の湿地にごく普通に見られます。多年草と書かれている図鑑もありますが、水田で見られるものは冬の到来とともに枯れてしまうものが多く、1年草としての生活史を送っていると考えられます。
- ☆ 夏のうちから育ってくるものもありますが、大半は稲刈りの後に出現します。草丈は20cm程度で、葉は「菊の葉」のようにたくさん切れ込みます。茎には白い毛がびっしり生えています。秋を中心に、葉わきにピンクの花を1個ずつ咲かせます。花や果実には「柄」がなく、茎から直接出ているように見えます。
- ☆ 水量に応じて自在に姿を切り替えることができ、水没したときと、陸上で育っているときとで、その姿が大きく異なります。水中でも開かない花（閉鎖花）をつけ、しっかりとタネを残します。

水没すると姿が変わる

キクモの仲間は、水の量に応じて体のかたちを自在に変えられます。水の中に沈むと、レースのように細かく切れ込んだ葉を出し、開かない花（閉鎖花）をつけます。水深に応じて50cm以上にもなります。この姿が美しいことから、アンブリアの名前で、アクアリウム用の水草としても栽培されます。ただ、市販のものは、産地不明で外来種も多いため、ビオトープ目的でも野に放つのはやめましょう。



がくは毛が多い



花は葉わきに1つずつ咲く

稲刈りが終わった後の水田で、いっせいに花を咲かせる



茎はとても毛深い

花や果実は柄がなく、葉のわきに直接つく



果実の中には砂のように細かいタネがびっしり



寒くなると紅葉する



水中に沈むと、葉のかたちが変わる



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

